

2 目標達成計画

作成日: 平成28年 1月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	あいさりグループホームではいまだ経験はないのですが、ここで最後を迎えたいとの本人家族の希望があった際に対応できるよう準備していきたいと考えます。	①看取りの指針の作成 ②職員会議・研修会等で看取りの指針や重症化した場合の対応方法を学ぶ。また、他グループホームの看取りの様子を知る。 ③DVD等を利用してその人らしい生活を学び、終末期の状態について把握しその対応の介護者の心構えを学ぶ。	①について外部講師による看取りについてのポイントを講義していただきました。(H27. 11. 5) ②岩手県認知症高齢者グループホーム実践報告会参加(4名参加)(H27. 12. 9) ③DVDの選定	半年
2	1	〇ご指摘の通り開所時からの理念をそのまま使用しています。他施設等の理念を見てみますと簡潔に柔らかい言葉で表現されていますので私たちの理念も親しみやすい表現にすることを検討してみたいと思います。	他施設の理念にも関心を持ち時々、今の理念とこれからの理念を考え展望を図っていきたい。	①現行の理念の毎日の唱和の継続。 ②職員会議等で時々理念について再確認し、実践可能な濃い自分たちの理念に結び付ける。	1年
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。